



# 石東中だより

合い言葉：石東中は未来の私の出発点

令和6年2月20日  
発行者：練馬区立石神井東中学校  
校長 市川 昌彦

## 生徒・保護者アンケートの結果から（令和5年度学校評価）

### ■豊かな心の醸成（学校生活、人権教育・道徳教育の充実）

生徒		肯定的回答		保護者		肯定的回答	
1. (自分は)友人と仲良く楽しく学校生活を送っている。	1年	95.2 %	1. 生徒は、友人と仲良く楽しく学校生活を送っている。	1年	92.1 %		
	2年	95.7 %		2年	92.9 %		
	3年	96.2 %		3年	96.3 %		
2. (自分には)人権・道徳の授業を通して、自他の生命尊重や人権感覚、相手を思いやる心が育っている。	1年	91.8 %	2. 人権・道徳の授業を通して、生徒に自他の生命尊重や人権感覚、相手を思いやる心が育っている。	1年	92.1 %		
	2年	92.6 %		2年	89.4 %		
	3年	97.7 %		3年	95.1 %		

#### 【成果】

情報モラル講習会、いのちの講演会、ソーシャルスキルトレーニング、道徳授業地区公開講座や教育活動全体で行ってきた道徳教育の成果が表れて、生徒の回答は、どの学年も肯定的回答が90%を超えている。

#### 【方策】

自他共に尊重できる人権感覚を育成するために、すべての教育活動を通じて思いやりの心や社会性を育てると同時に、偏見や差別、いじめのない好ましい人間関係を築かせるための道徳授業の充実に努める。

### ■豊かな人間性を育む生徒指導

生徒3		肯定的回答		保護者3		肯定的回答	
3. (自分には)挨拶の励行や時間を守るなどの生活習慣が身に付いている。	1年	92.0 %	3. 挨拶の励行や時間を守るなどの生活習慣が身に付いている。	1年	89.9 %		
	2年	93.6 %		2年	85.9 %		
	3年	97.0 %		3年	92.7 %		
4. (自分には)学校生活のきまりや社会ルールに対する規範意識が身に付いている。	1年	91.8 %	4. 学校生活のきまりや社会ルールに対する規範意識が身に付いている。	1年	91.0 %		
	2年	95.1 %		2年	92.9 %		
	3年	97.7 %		3年	98.8 %		
5. 本校では、生徒の心情を大切に温かみのある生活指導や教育相談が行われている。	1年	86.3 %	5. 学校では、生徒の心情を大切に温かみのある生活指導や教育相談が行われている。	1年	85.4 %		
	2年	88.3 %		2年	87.1 %		
	3年	93.2 %		3年	86.6 %		

#### 【成果】

来校する方々に対してなど、挨拶が習慣化している。また、生徒には互いに声をかけ合い、きまりを守ろうとする姿勢がある。生徒間のトラブルはあるが、教員が間に入り、最後には解決にいたっている。

#### 【方策】

今後も挨拶運動などに力を入れ、基本的な生活習慣の定着に向けて指導すると共に、生徒会を中心とした自治組織が主体となり、学校生活や社会ルールに対する規範意識を高める活動に取り組みさせる。一人一人の生徒に寄り添う生徒指導・相談活動を実践する。

### ■確かな学力の定着

生徒		肯定的回答		保護者		肯定的回答	
6. 授業規律が確保され、(自分には)真剣に学習に取り組む姿勢・態度が定着してきた	1年	91.1 %	6. 授業規律が確保され、生徒の真剣に学習に取り組む姿勢・態度が定着している。	1年	82.0 %		
	2年	87.7 %		2年	89.4 %		
	3年	100.0 %		3年	92.7 %		

生徒	肯定的回答	
7. 学習の見通しと目標を明確にした授業・話し合いを取り入れた授業・振り返りを大切にされた授業により、(自分は)主体的に粘り強く学習に取り組んでいる。	1年	88.4 %
	2年	82.8 %
	3年	92.5 %
8. 本校では、基礎学力の定着のために、学び合い活動や ICT 機器等を活用した分かり易い授業が行われている。	1年	94.5 %
	2年	92.6 %
	3年	96.2 %
9. (自分の) 家庭学習の習慣が定着してきており、自分自身の学習目標を立てて、苦手なところを補ったり、必要な学習を行えるようになってきている。	1年	78.1 %
	2年	68.1 %
	3年	88.0 %
10. 本校では、朝読書や課題図書といった生徒の読書活動が活発に行われている。	1年	94.5 %
	2年	95.7 %
	3年	91.0 %

保護者	肯定的回答	
7. 学習の見通しと目標を明確にした授業・話し合いを取り入れた授業・振り返りを大切にされた授業により、生徒は主体的に粘り強く学習に取り組んでいる。	1年	69.7 %
	2年	80.0 %
	3年	80.5 %
8. 学び合い活動や ICT 機器等を活用した分かり易い授業が行われ、生徒の基礎学力の定着が図られている。	1年	65.2 %
	2年	77.6 %
	3年	84.1 %
9. 家庭学習の習慣が定着してきており、自分自身の学習目標を立てて、苦手なところを補ったり、必要な学習を行えるようになってきている。	1年	48.3 %
	2年	54.1 %
	3年	73.2 %
10. 朝読書や課題図書といった生徒の読書活動が活発に行われている。	1年	73.0 %
	2年	76.5 %
	3年	72.0 %

### 【成果】

授業規律が浸透しており、多くの生徒が授業に集中している。特に3年生は、肯定的回答が100%となるなど、学力の伸長と共に、自尊感情が高まってきている。読書教育も、図書館支援員の協力もあり、図書委員会中心に進んでいる。一方、家庭学習の習慣が定着している生徒の割合が全体で8割に至らず、家庭での学習習慣の定着に取り組む必要がある。

### 【方策】

学級、学年で主体的な学習に取り組ませるための指導を継続して行っていく。また、家庭学習に使用できる ICT 教材の紹介などを行い、家庭での学習に幅を持たせていく。また、各教科でも課題を設定し、家庭での学習を促す指導を行う。

## ■安全管理、健康の保持・増進

生徒	肯定的回答	
11. 本校では、生徒会活動と連携した健康教育や食育に関する啓発活動が活発に行われている。	1年	87.0 %
	2年	81.6 %
	3年	91.7 %
12. 本校では、美味しく栄養バランスの良い給食が提供されている。	1年	92.5 %
	2年	98.2 %
	3年	96.2 %
13. (自分は) 体育授業や運動部活動を通して、健康・体力の保持・増進に運動が必要であることへの理解を深められてきている。	1年	91.8 %
	2年	93.9 %
	3年	99.2 %
14. (自分は) 避難訓練や防犯・安全教室を通して、安全や防災に対する意識が高められてきている。	1年	92.5 %
	2年	94.5 %
	3年	97.7 %

保護者	肯定的回答	
11. 生徒会活動と連携した健康教育や食育に関する啓発活動が活発に行われている。	1年	68.5 %
	2年	64.7 %
	3年	70.7 %
12. 本校では、美味しく栄養バランスの良い給食が提供されている。	1年	83.1 %
	2年	90.6 %
	3年	91.5 %
13. 健康・体力の保持・増進に運動が必要であることへの理解が、体育授業や運動部活動を通して深められている。	1年	83.1 %
	2年	87.1 %
	3年	90.2 %
14. 避難訓練や防犯・安全教室を通して、生徒の安全や防災に対する意識が高められている。	1年	80.9 %
	2年	89.4 %
	3年	85.4 %

### 【成果】

保健委員会では、自主的に啓発のための動画を作りキャンペーンを行ったり、給食委員会・放送委員会が協力して食育に関する活動を行っている。給食が美味しい・好きだという生徒も多い。体育的活動には、9割以上の生徒が理解を深めている。避難訓練や防犯・安全教室にも真剣に参加できている。

### 【方策】

実際に起きた災害について考えさせる安全教育を計画すると共に、より実際に即した避難訓練を実施していく。避難拠点防災訓練などへの参加を呼びかけ、地域に貢献するボランティア精神をもたせる工夫をする。防犯・安全教室の内容も、SNS の使い方なども加え、様々な状況に対応できる訓練を設定していく。

■キャリア教育の視点に立った学校行事と進路指導（キャリア教育、体験活動、部活動の充実）

生徒		肯定的回答	保護者		肯定的回答
15. (自分には) 職業調べや職場体験、中学校卒業に向けた進路指導を通し、望ましい勤労観・職業観が身に付いてきている。	1年	81.5 %	15. 職業調べや職場体験、中学校卒業に向けた進路指導を通し、生徒の望ましい勤労観・職業観を育てている。	1年	82.0 %
	2年	92.6 %		2年	89.4 %
	3年	94.7 %		3年	91.5 %
16. 本校では、生徒の自治力向上に向けた生徒会活動や部活動、達成感や成就感を味わえる学校行事が充実している。	1年	87.0 %	16. 生徒の自治力向上に向けた生徒会活動や部活動の充実、達成感や成就感を味わわせる学校行事の充実が図られている。	1年	86.5 %
	2年	90.8 %		2年	84.7 %
	3年	97.0 %		3年	86.6 %
17. オリンピック・パラリンピック教育レガシーとしての活動を通して、(自分には) 豊かな国際感覚が養われてきている。	1年	78.8 %	17. オリンピック・パラリンピック教育レガシーとしての活動を通して、豊かな国際感覚が養われている。	1年	70.8 %
	2年	81.6 %		2年	71.8 %
	3年	88.7 %		3年	68.3 %

【成果】

職業に関する指導は、3年間を通じて発達段階に合わせた指導を行うことができています。また、学校行事には、実行委員を中心に、主体的に取り組ませることができた。合唱コンクールは感染症が流行し、取組が難しかったが、クラスの枠を超えて助け合い、合唱以上の成果を得ることができた。国際理解教育として青年海外協力隊経験者の方の話を聞いたり、アフリカ文化体験としてコンサートを体験する機会をもつことができた。

【方策】

組織的・系統的にキャリア教育を推進する。キャリア・パスポートの活用により自己理解を深め、主体的に進路を選択し、自己実現を図る能力を育成する。生徒会中心に自治活動を推進する。専門委員会と共に生徒協議会を開催し、生徒主体の活動を行っていく。オリンピック・パラリンピック教育レガシーとしての活動も企画していく。

■個に応じた支援の充実

生徒		肯定的回答	保護者		肯定的回答
18. 本校では、スクールカウンセラーや心のふれあい相談員などと相談しやすい。	1年	75.3 %	18. 生徒の個に応じた支援に向け、スクールカウンセラーや心のふれあい相談員等、関係機関と連携した教育相談・校内支援体制の充実が図られている。	1年	75.3 %
	2年	74.8 %		2年	80.0 %
	3年	73.7 %		3年	75.6 %
19. 本校は、生徒の悩みや不安を解消するための相談活動（個人面談やふれあい週間）が充実している。	1年	82.2 %	19. 生徒の悩みや不安を解消するための相談活動（個人面談やふれあい週間）の充実が図られている。	1年	76.4 %
	2年	80.4 %		2年	75.3 %
	3年	77.4 %		3年	70.7 %
20. 本校では、いじめの未然防止や早期解決、登校渋りや不登校生徒の解消に取り組んでいる。	1年	67.8 %	20. 学校は、いじめの未然防止や早期解決、登校渋りや不登校生徒の解消に取り組んでいる。	1年	66.3 %
	2年	72.4 %		2年	65.9 %
	3年	83.5 %		3年	67.1 %

【成果】

生徒の悩みや不安に寄り添う指導を進めながら、スクールカウンセラーや心のふれあい相談員、生活支援員にも相談できる体制を進めてきた。ふれあい月間にアンケートを実施し、その結果にも丁寧に対応している。校内の支援委員会による情報共有により、個に応じた支援に組織的に取り組むことができた。

【方策】

今後も、教育相談活動を毎学期実施し、配慮を要する生徒の把握や不登校の未然防止と早期発見に努める。特別支援教育コーディネーターを中心に研修を行い、スクールカウンセラー・心のふれあい相談員・スクールソーシャルワーカー・適応指導教室等と連携した指導体制により、生徒および保護者への支援を充実する。

【保護者のご意見から】

家庭学習習慣を身に付けるため、課題を出してほしいです。  
→各教科でも課題を出していきますが、各自が自分自身に必要な学習を考えて主体的に予復習していくよう指導していきます。

<p>タブレットを一人一人持っているのであれば、学校に行けない期間(インフルエンザ等で、もちろん違う理由でも)の生徒向けにオンライン授業があるといいなと思います。</p> <p>→配信用のタブレットは支給されておらず、残念ながらオンライン配信はできませんが、課題などタブレットを利用して配付することはできますので、活用していきます。</p>
<p>成績の付け方を、はっきりとして欲しい。公正な付け方をしているようには見えない。特に専科の授業。</p> <p>→年度当初に各教科から評価方法について説明をしています。分からないことは各担当にお問い合わせください。今後もどのような力を身に付けてほしいかを明らかにして授業を進めます。ご理解をお願いします。</p>
<p>石東中は内申が取りづらいと有名なので、改善してほしいです。</p> <p>→各教員とも、日々研修しながら学習活動に沿った評価を行っています。評定は学習のねらいに対してどのくらい到達できているかを各自で確認するためのものです。それらを目安にして次の学習に活かしてください。</p>
<p>第一子のため高校受験に際する知識があまりなく、不安があります。二年生半ばくらいから高校受験の情報を頂けたり、通知表の評価の付け方についてもご説明があると助かると思います。</p> <p>→上級学校調べなどを行ったりして、各学年で指導をしております。また、2年生の保護者も3年生対象の進路説明会に参加できるよう、ご案内もしていきたいと思います。</p>
<p>タブレットの使用時間を23時までにしてほしい(提出物も多く、夜に勉強することがほとんどのため)</p> <p>→区全体で望ましい使用時間として決められています。現状、時間内で使用してください。</p>
<p>制限のない学校生活が続くことを願います。校外授業はもっと増やした方がいいと思います。今回は職業体験も1日だったり小学校から制限のかかった学校生活だったのでいい思い出をたくさん作って欲しいです。</p> <p>→職業体験が短縮されたことは残念でした。今後、校外学習を以前のように行えるように取り組みます。</p>
<p>担任の先生方が生徒の心を読むには先生の仕事の負担が多すぎますし、丁寧にみれるかといえば難しいので定期的にアンケートを取って心理担当としてカウンセラーなどが気かけられる環境が大事だと思いました。</p> <p>→現在、学期ごとにアンケートを取って、相談できる機会を設けております。今後も教職員とカウンセラーが連携して相談しやすい環境を整備していきます。</p>
<p>カーディガン着用不可など、禁止する明確な理由がない校則を重視していることが残念です。女子のスラックスと同じように認められるべき多様性のひとつだと思います。</p> <p>→本校はセーターを学校指定にしているので、カーディガンなどは原則着ないことになっております。校則に関しては、生徒の状況や時代の流れに合わせて改定していきたいと考えています。生徒会を中心に考えさせる取組もできるかもしれません。</p>
<p>不登校が多いと言うが、対策が特にならない。カウンセラー週一、保健室登校拒否、オンライン授業なし。課題を出しテストのみ受けても評価はできないと。色々諦めました。先生はみんな良い先生と感じます。</p> <p>→不登校になっている生徒のための対策は少しずつでも拡大していきたいと考えております。今後、学校としての取組が見えるようにしていきます。</p>
<p>合唱コンクールとても良かった。生徒が自分を見付けられるように多種多様な生徒主体のイベントがあれば、不登校は減るのでは。給食もおしゃべり出来るように机を付けてほしい。子供達の今後が心配。</p> <p>→行事やイベントについては今後検討をしていきます。給食時の机の向きについても検討します。</p>
<p>私も石神井東中に通っていましたが、昔と比べて部活の種類が少なく選択肢が少なすぎるので強制であれば塾や習い事と両立できる軽い部活も必要かと思います。</p> <p>→部活動は自由参加です。活動日の少ない部活動もありますので、生徒本人の興味や意欲に合わせて参加してください。部活動の種類については活動場所の確保(体育館などの重なり)、指導者の確保に左右されますので、なかなか開設数を増やしにくいのが現状です。</p>
<p>授業に集中できないクラスの雰囲気がある、小学校と比べると給食が美味しくない、ある先生が理不尽な発言、怒りを生徒にぶつけてくることがある、などと感じているようです。</p> <p>→入学当初から対人関係に困難を抱えていたり、低学力に苦しんでいたり、精神的に集団生活に入っていけない生徒などがいる場合もあり、クラスの雰囲気が落ち着かないことも例年ありますが、担任を中心に学校全体で取り組んでいます。給食については、栄養バランスを考え、地域産の旬の素材を使用して工夫しています。今後も生徒たちの意見を基に献立を考えていきます。また試食会もPTAで実施してくれていますので、是非参加してください。教員の指導についてはご迷惑をおかけして申し訳ありません。改善に向けて取り組んでいきます。</p>
<p>先生方のご負担心配です。部活動の外部指導員の導入を積極的に推進してほしいです。荷物が重すぎるので、教科書類をタブレット閲覧できるようにして欲しいです。</p> <p>→外部指導員の導入については、更に進めていきます。デジタル教科書の導入を練馬区で令和7年度より計画しております。</p>
<p>アンケートは匿名の方が回答率が上がり、率直な意見を正確に把握出来ると思います。</p> <p>→記名していただければ、ご意見に対し直接ご返答できるため、記名をお願いします。</p>

アンケートへのご協力、ありがとうございました。